

第4回 夏季セミナー

「数の基礎学習Ⅱ」の学習

同じ数を作る/合成・分解の学習～タイル操作による指導

「数の基礎概念」を形成する学習として、8月22日は公開講座「数の基礎学習Ⅰ」、8月29日は夏季セミナー「数の基礎学習Ⅱ」の研修会を行いました。今回の夏季セミナーは、公開講座の「いろいろな物を数える、数えこむことの学習」の次の段階として位置づけられます。内容は、「あるものの数とあるものの数が同じである」という学習、そして「合成分解」の学習です。

演習では、下の写真の教材を用いて、真ん中で仕切られた両側の空間を同じにする方法で行いました。学習の重要なポイントは、「二つの空間を同じにする」と、「一方の空間に入っている見本のタイルの数ともう一方の空間の数を同じ数にするためには、あといくつ入れたらよいのか」を考えることです。

演習を通して、どんな状態が二つの空間が同じであるのか、どういう状態がちがうのか。それらを学習するためのことばかけ、タイルの呈示のステップ、指導者のタイルの操作の仕方、タイルを数える際の援助の仕方を学びました。

学習中に子どもがどこをみているかを常に意識して、子どもの視線を把握することが最も大切でということ演習を通して学びました。子どもの姿勢、教材の呈示の位置、「見て」と言い、見たとき「見てるね」ということばかけ、よくほめることの大切さを学ぶことができました。



◀ 参加された方の感想 ▶

どのように数の学習をおしえようかと悩んでいたもので、視覚的にもわかりやすく、子どもの理解を促すことばかけを学ぶことができ大変勉強になりました。早速現場でやってみたいと思います。

特別支援学級教諭

大変わかりやすく、帰宅後すぐに子どもに教えてみたいと思いました。一つ一つのことばかけや動作で子どもの理解度が変わると痛感し、本を購入して再度学びたいと思います。ありがとうございました。

保護者